

まず扉をあけると坂本彦太郎氏の「望ましい教師の姿」が眼にはいる。

おさなこの師は 才たけて

みめうるわしく なさげあり

たったこれだけのことはの中に、実に深い、おさなこの師としての望ましい姿が写し出されている。よくよく味って読み、わが身にふりかえって「日頃の我」を反省してみたいものである。

「五月のこどもの姿」は山村きよ氏が書いておられるが、とかく日々に追われがちな保育者たちにもう一度今の子どもたちの実際の姿を見直す心の余裕をあたえてくれる。見直してこそ次への理想的の保育が生れるはずである。

次に六領域の中から二、三を拾ってみると、言語では「おしゃべり、出ししゃべり、だんまり、はにかみ」「あいさつのことば、実のあることば、やくにたつことば」と、五月のこの頃のとりどりの花ともいえる子どもたちの指導を気持よくかかれています。

音楽リズムでは強くこと、打つことの楽器あそびに、いろいろの工夫がなされ、高価な楽器を買わずとも、空びん、竹、貝、石ころ、びんの口金などでつくられた興味あるものが紹介されている。絵画製作では、この頃の、かきたい欲求、つくりたい欲求の満足をみたすため、フィンガーペインティング、粘土を第一にとりあげ、その在り方がかかれています。

両親教育では、とくに親子ともにつかわれてきたこの頃、話し合の大切なこと、いろいろの方法で教師と母と一緒にする機会を多くすることを教えている。

三才の保育としては前号にも紹介したが、三才としての特徴、保育技術、理想環境、母親の指導がこまごまとかかれています。三才を受持ったれる保育者に参考にしてほしいところである。

\* \* \*

## 幼児の教育 第五十六巻 第八号

◎ 定価 五十円

昭和三十二年七月二十五日印刷

昭和三十二年八月 一 日発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真  
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五番地

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町二ノ五

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌ご購入についてのご注文は発売所  
フレーベル館にお願いたします。